

最高気温34度。「暑い暑い」と言いながら始まった2学期。今年の夏は特に暑く、なんと過去126年間で最も暑かったそうですが、そんな夏も終わり、短かった秋も過ぎ、今日の予想最高気温は7度。池には氷も張りました。本格的な冬の寒さを感じながら今日で2学期が終わります。

校長先生が、この2学期で一番思い出に残っているのは、「浮野っ子まつり」です。特に印象に残っているのは、みんなが、自分たちのクラスに来てくれる「お客さん」に喜んでもらうにはどうすればいいのか、一生懸命考えて準備をしていた様子です。浮野っ子まつり本番の日に、大きな声で「いらっしゃいませ！」とあいさつをしたり、一生懸命ルール説明をしたりしていた姿にも感動しました。保護者や地域の方からも、校長先生と同じように、「とても立派でした。」「感動しました。」などの感想をたくさんいただきました。

ところで、校長先生は浮野っ子まつりの開会式で、「『おもいやり』を大事にしよう」と言いましたが、「おもいやり」とよく似た言葉で「おもてなし」という言葉があるのを知っていますか？「おもてなし」とは、お客さんの気持ちを大事にして、心をこめてお世話をすることです。時々、外国の人たちが「日本人の『おもてなし』の心はすばらしい」と褒めてくれたりします。浮野っ子まつりで見せたみなさんの姿は、まさに「おもてなし」そのものでした。

校長先生は、「おもてなし」の心をもった人はすばらしいと思います。「おもてなし」の心をもった人の周りには、自然に、優しくて思いやりのある人が集まってきます。そんな人たちに囲まれた人は幸せだと思います。

冬休み中には、「おもてなし」に関係する行事がいろいろあります。例えば大掃除。「この場所を使う人が気持ちよくなるようにきれいにしよう」。これは立派な「おもてなし」です。例えば、親戚やお友達があなたの家に来ることや、逆に、あなたが親戚やお友達の家に行くことがあるかもしれません。お客さんが喜んでくれるように大人はいろいろな「おもてなし」をするはずですが、でもみなさんにだってできることはたくさんあります。浮野っ子まつりでやったことを思い出して、自分なりの「おもてなし」に挑戦してください。また、相手がしてくれた「おもてなし」に気付くことも大事です。そして「〇〇してくれてありがとう」と言えたら、相手もとてもうれしい気持ちになります。

みなさんが「おもてなし」の心を忘れずに、楽しい冬休みを過ごすことを願っています。3学期の始業式、また会いましょう。